

衛生学・公衆衛生学 疫学・環境医学コース

担当講座	衛生学公衆衛生学講座		問合せ先	衛生学公衆衛生学講座	
分野責任者	丹野 高三 教授		連絡先	内線 5775	
担当教員	丹野 高三 教授 田鎖 愛理 講師 下田 陽樹 助教				
人材育成の 基本理念	疫学研究方法論を学び、医療の諸課題を科学的に分析し課題解決に向け計画立案し、必要に応じて実践できる人材を育成する。また、環境問題について、自ら客観的な評価をし、評価に基づいた対策を立案し、必要な措置を講じることができる人材を育成する。				
主な研究内容	疫学、臨床疫学、医療情報学、地域医療学、環境医学、産業保健学について研究する。				
教育成果 (アウトカム)	教育成果			該当するディプロマポリシー	
	医療の諸課題について、疫学研究・臨床疫学研究方法論を用いて自ら分析し、課題解決策を提示し、実践できるようになる。また、環境要因の測定及び評価方法を修得し、環境要因と健康の関連を分析し、健康に与える環境の要因を明らかにし、課題を解決できるようになる。			1,2,3,4,5,6,7,8	
達成目標	達成目標		対象科目		
	(1)生命科学や、医学研究のための基本的な知識を活用できる		ベーシックセミナー		
	(2)適切な研究デザイン、解析法を立案し実施できる。		研究方法論		
	(3)得られた研究結果を正しく解釈できる。		特別研究ⅠⅡⅢ		
	(4)解析結果ををまとめ、発表できる（英文が望ましい）		特別研究ⅠⅡⅢ		
	(5)病因の解明や治療法の発展に寄与できる。		特別研究ⅠⅡⅢ		
	(6)次世代の人材育成に貢献できる。		特別研究ⅠⅡⅢ、大学院セミナー		
	(7)疫学の目的と手法について概略を説明できる。		疫学・環境医学セミナー1～3、疫学・環境医学演習1～2		
	(8)疫学に用いる統計について概略を説明できる。		疫学・環境医学セミナー1～3、疫学・環境医学演習1～2		
	(9)因果関係と疫学的手法について関連を説明できる。		疫学・環境医学セミナー1～3、疫学・環境医学演習1～2		
	(10)有病率罹患率を説明できる。		疫学・環境医学セミナー1～3、疫学・環境医学演習1～2		
	(11)スクリーニングの基本概念を説明できる。		疫学・環境医学セミナー1～3、疫学・環境医学演習1～2		
	(12)年齢調整を直接法・間接法を用いて行うことができる。		疫学・環境医学セミナー1～3、疫学・環境医学演習1～2		
	(13)断面調査の基本的特徴を説明できる。		疫学・環境医学セミナー1～3、疫学・環境医学演習1～2		
	(14)患者対照研究の基本的特徴を説明できる。		疫学・環境医学セミナー1～3、疫学・環境医学演習1～2		
	(15)オッズ比を計算できる。		疫学・環境医学セミナー1～3、疫学・環境医学演習1～2		
	(16)前向き研究の基本的特徴を説明できる。		疫学・環境医学セミナー1～3、疫学・環境医学演習1～2		
	(17)相対危険、寄与危険、寄与危険割合、人口寄与危険、人口寄与危険割合を説明できる。		疫学・環境医学セミナー1～3、疫学・環境医学演習1～2		
	(18)介入研究の基本的特徴を説明できる。		疫学・環境医学セミナー1～3、疫学・環境医学演習1～2		
	(19)無作為割付の意義を説明できる。		疫学・環境医学セミナー1～3、疫学・環境医学演習1～2		
	(20)健康の意味を生活との関連で説明できる。		疫学・環境医学セミナー1～3、疫学・環境医学演習1～2		
	(21)室内の温熱要素・空気成分を健康との関連で説明できる。		疫学・環境医学セミナー1～3、疫学・環境医学演習1～2		
	(22)住居・衣服の役割について説明できる。		疫学・環境医学セミナー1～3、疫学・環境医学演習1～2		
	(23)音・電磁波などの物理的環境条件の健康影響について説明できる。		疫学・環境医学セミナー1～3、疫学・環境医学演習1～2		
	(24)上下水道の仕組みと廃棄物処理の意義を説明できる。		疫学・環境医学セミナー1～3、疫学・環境医学演習1～2		
	(25)過去と現在における主な公害被害について説明できる。		疫学・環境医学セミナー1～3、疫学・環境医学演習1～2		
	(26)社会が直面する地球環境の問題を説明できる。		疫学・環境医学セミナー1～3、疫学・環境医学演習1～2		
	(27)環境の諸要素について測定し評価する技法を習得する。		疫学・環境医学セミナー1～3、疫学・環境医学演習1～2		
	(28)公衆衛生学上の課題について調査研究し学会形式で発表することができる。		疫学・環境医学セミナー1～4、疫学・環境医学演習1～4		
	(29)産業保健制度について説明できる。		疫学・環境医学セミナー4、疫学・環境医学演習3～4		
	(30)職場保健における疾病の管理予防について説明できる。		疫学・環境医学セミナー4、疫学・環境医学演習3～4		
	(31)循環器疾患の危険因子について概略を説明できる。		疫学・環境医学セミナー4、疫学・環境医学演習3～4		
	(32)がんの危険因子について概略を説明できる。		疫学・環境医学セミナー4、疫学・環境医学演習3～4		
	(33)感染症の予防と法制度について概略を説明できる。		疫学・環境医学セミナー4、疫学・環境医学演習3～4		
資格取得等	特になし。				
履修に関する 情報	社会人大学院など勤務等で講義に出席できない場合には、日程等の調整に応じる。入学時より前半の2年間の間に共通教育科目の必修科目「研究方法論（2単位）」に加えて、選択必修科目を履修することが望ましい。				

●在学中に履修できるカリキュラム

区分	配当年次	科目名		開講	コマ数	単位	修了までに 必要な単位	備考
研究特論	1年	講義	疫学・環境医学セミナー1	通年	8	1	20単位	
	2年	講義	疫学・環境医学セミナー2	通年	8	1		
	3年	講義	疫学・環境医学セミナー3	通年	8	1		
	4年	講義	疫学・環境医学セミナー4	通年	8	1		
	1年	演習	疫学・環境医学演習1	通年	30	4		
	2年	演習	疫学・環境医学演習2	通年	30	4		
	3年	演習	疫学・環境医学演習3	通年	30	4		
	4年	演習	疫学・環境医学演習4	通年	30	4		
特別研究	2年		特別研究Ⅰ（初期審査）	通年	8	1	4単位	※2021年度以降入学者 対象科目
	3年		特別研究Ⅱ（中間審査）	通年	8	1		
	4年		特別研究Ⅲ（論文作成）	通年	15	2		

※他分野の単位取得は分野責任者に相談の上、教務課へ連絡してください。

●各科目の授業計画

衛生学・公衆衛生学 疫学・環境医学コース

コード	MD13121010				MD13121020				MD13121030				MD13121040			
科目	疫学・環境医学セミナー1				疫学・環境医学セミナー2				疫学・環境医学セミナー3				疫学・環境医学セミナー4			
科目責任者	丹野高三				丹野高三				丹野高三				丹野高三			
担当者	丹野高三 田鎖愛理、下田陽樹				丹野高三 田鎖愛理、下田陽樹				丹野高三 田鎖愛理、下田陽樹				丹野高三 田鎖愛理、下田陽樹			
会場	衛生学公学衆衛生学セミナー室				衛生学公学衆衛生学セミナー室				衛生学公学衆衛生学セミナー室				衛生学公学衆衛生学セミナー室			
区分等	区分	講義	単位	1	区分	講義	単位	1	区分	講義	単位	1	区分	講義	単位	1
	回数	通年8コマ	配当年次	1	回数	通年8コマ	配当年次	2	回数	通年8コマ	配当年次	3	回数	通年8コマ	配当年次	4
主な授業内容	疫学・環境医学の基礎的な知識				疫学・環境医学の基本的な知識				疫学・環境医学の専門的な知識				疫学・環境医学の発展的な知識			
教育成果	疫学方法論の基礎および環境医学の基礎を習得する。				疫学方法論の基本的な知識および環境医学の基本的な知識を習得する。				疫学方法論の専門的な知識および環境医学の専門的な知識を習得する。				疫学方法論および環境医学方法論を実際の疾病予防に活用するための知識を習得する。			
SBO	分野の達成目標 (7)(8)(9)(10)(11)(12)(13)(14)(15)(16)(17)(18)(19)(20)(21)(22)(23)(24)(25)(26)(27)(28)				分野の達成目標 (7)(8)(9)(10)(11)(12)(13)(14)(15)(16)(17)(18)(19)(20)(21)(22)(23)(24)(25)(26)(27)(28)				分野の達成目標 (7)(8)(9)(10)(11)(12)(13)(14)(15)(16)(17)(18)(19)(20)(21)(22)(23)(24)(25)(26)(27)(28)				分野の達成目標 (28)(29)(30)(31)(32)(33)			
特記事項	各講義に対する事前学修の時間は最低30分を要し、内容は担当教員に確認すること。 【2021年度以降の入学者】全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 【2020年度までの入学者】講義の出欠は履修手帳で管理する。															
評価方法	【2021年度以降の入学者】「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。 【2020年度までの入学者】出席、レポートなどにより総合的に評価する。															
講義日程	時間割参照															
教科書参考書																

コード	MD13121050				MD13121060				MD13121070				MD13121080			
科目	疫学・環境医学演習1				疫学・環境医学演習2				疫学・環境医学演習3				疫学・環境医学演習4			
科目責任者	丹野高三				丹野高三				丹野高三				丹野高三			
担当者	丹野高三 田鎖愛理、下田陽樹				丹野高三 田鎖愛理、下田陽樹				丹野高三 田鎖愛理、下田陽樹				丹野高三 田鎖愛理、下田陽樹			
会場	衛生学公学衆衛生学セミナー室				衛生学公学衆衛生学セミナー室				衛生学公学衆衛生学セミナー室				衛生学公学衆衛生学セミナー室			
区分等	区分	演習	単位	4	区分	演習	単位	4	区分	演習	単位	4	区分	演習	単位	4
	回数	通年30コマ	配当年次	1	回数	通年30コマ	配当年次	2	回数	通年30コマ	配当年次	3	回数	通年30コマ	配当年次	4
主な授業内容	初歩的な疫学研究手法、環境医学評価手法の習得				基本的な疫学研究手法、環境医学評価手法の習得				専門的な疫学研究手法、環境医学評価手法の習得				発展的な疫学研究手法、環境医学評価手法の習得			
教育成果	演習問題を用いて疫学方法論の基礎および環境医学の基礎を習得する。				演習問題を用いて疫学方法論の基本的な知識および環境医学の基本的な知識を習得する。				演習問題を用いて疫学方法論の専門的な知識および環境医学の専門的な知識を習得する。				演習問題を用いて疫学方法論および環境医学方法論を実際の疾病予防に活用するための知識を習得する。			
SBO	分野の達成目標 (7)(8)(9)(10)(11)(12)(13)(14)(15)(16)(17)(18)(19)(20)(21)(22)(23)(24)(25)(26)(27)(28)				分野の達成目標 (7)(8)(9)(10)(11)(12)(13)(14)(15)(16)(17)(18)(19)(20)(21)(22)(23)(24)(25)(26)(27)(28)				分野の達成目標 (28)(29)(30)(31)(32)(33)				分野の達成目標 (28)(29)(30)(31)(32)(33)			
特記事項	各講義に対する事前学修の時間は最低30分を要し、内容は担当教員に確認すること。 【2021年度以降の入学者】全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 【2020年度までの入学者】講義の出欠は履修手帳で管理する。															
評価方法	【2021年度以降の入学者】「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。 【2020年度までの入学者】出席、レポートなどにより総合的に評価する。															
講義日程	時間割参照															
教科書参考書																

●各科目の授業計画

コード	MD13129010				MD13129020				MD13129030							
科目	特別研究Ⅰ				特別研究Ⅱ				特別研究Ⅲ							
科目責任者	各(正)指導教員				各(正)指導教員				各(正)指導教員							
担当者	各指導教員				各指導教員				各指導教員							
会場	各指導教員と相談の上決定				各指導教員と相談の上決定				各指導教員と相談の上決定							
区分等	区分	演習	単位	1	区分	演習	単位	1	区分	演習	単位	2				
	回数	通年8コマ	配当年次	2	回数	通年8コマ	配当年次	3	回数	通年15コマ	配当年次	4				
主な授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生命科学や研究手法の基礎的な知識 ・研究計画調書の作成 ・初期審査実施 				<ul style="list-style-type: none"> ・生命科学や研究手法の専門的な知識 ・中間審査実施 				<ul style="list-style-type: none"> ・生命科学や研究手法の発展的な知識 ・論文作成 ・最終審査の準備 							
教育成果	<p>生命科学や研究手法の基礎的な知識を身につける。研究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えることができる。</p> <p><初期審査> 2年次末までに実施。研究指導教員同席のもと非公開で実施する。研究計画調書等に基づき、研究の概要について口答で説明し、その妥当性について審査を受け、今後の研究の進め方について指導を受ける。</p>				<p>生命科学や研究手法の専門的な知識を身につける。研究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えることができる。</p> <p><中間審査> 3年次末までに実施。研究指導教員同席のもと非公開で実施する。研究計画調書に基づき、研究の概要及び進捗状況について口答で説明し、現在に至るまでの過程及び初期審査時の目標の達成度等について審査を受け、今後の研究の進め方について指導を受ける。</p>				<p>生命科学や研究手法の発展的な知識を身につける。最終審査に向けて、情報を適切に分析し、論旨を展開できる。</p> <p><論文作成> 4年次12月までに実施。論文作成に向けたデータ収集や解釈、図譜の作成や記載ができ、論文を作成できる。</p>							
SBO	分野の達成目標 (3)(4)(5)(6)				分野の達成目標 (3)(4)(5)(6)				分野の達成目標 (3)(4)(5)(6)							
特記事項	初期審査の詳細は、「初期・中間審査の手引き」を参照。				中間審査の詳細は、「初期・中間審査の手引き」を参照。											
評価方法	①受講票 ②初期審査結果				①受講票 ②中間審査結果				①受講票 ②学位申請論文の提出							
講義日程	時間割参照															
教科書参考書																

●時間割

衛生学・公衆衛生学 疫学・環境医学コース

【前期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						共通教育科目
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30	特別研究Ⅰ～Ⅲ	疫学・環境医学演習1～4		疫学・環境医学演習1～4	疫学・環境医学セミナー1～4(隔週)	
6 限	19:40~21:10						
【後期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						共通教育科目
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30	特別研究Ⅰ～Ⅲ	疫学・環境医学演習1～4		疫学・環境医学演習1～4	疫学・環境医学セミナー1～4(隔週)	
6 限	19:40~21:10						

<履修スケジュール> ※各自記録してください。

【前期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						

【後期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						